

はじめに

少子高齢社会が進展する中で、県民の健康づくりや医療、福祉に対する関心や意識は一層高まるとともに、その需要も多様化、複雑化しております。

現在、団塊の世代の方が後期高齢者となる2025年（平成37年）を見据え、国を挙げて医療や介護などの社会保障制度改革を進めております。また、県においては、平成29年3月に策定した「第3次山形県総合発展計画短期アクションプラン」に基づき、いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築に向け、暮らしを支える保健、医療、福祉の充実を図る取組みを進めているところです。

また、県では、山形県保健医療計画、健康やまがた安心プラン、やまがた長寿安心プラン、山形県障がい者計画、山形県地域福祉推進計画等の各種計画に沿って、保健・医療・福祉行政を総合的・一体的に推進しておりますが、時代の変化と多様な諸問題に対応していくためには、本県の情勢についてよりの確に認識していくことが不可欠です。

本書では、本県の保健・医療・福祉行政全般にわたる主要なデータを年次別に、また全国及び他都道府県との比較を織り込みながら取りまとめるとともに、各分野における現状や背景について掲載し、それぞれの分野を取り巻く状況が把握できるように構成いたしました。

本書を、効果的な保健・医療・福祉行政推進のための基礎資料として、各方面で広く御活用いただければ幸いです。

平成29年9月

山形県健康福祉部長

武田 啓子